

I 平成27年度事業報告

総括

1 役員会の開催と主な事項

(1) 評議員会・理事会の開催と主な事項

開催日	役員会名称	議 題
平成27年4月6日	第6回理事会	平成26年度決算承認について 業務方法書の一部改正について 組織規定の一部改正について
平成27年4月20日	第6回評議員会	平成26年度決算承認について 理事の補欠選任について
平成27年4月20日	第7回理事会	理事長及び専務理事の選定について
平成28年1月7日	第8回理事会	平成27年補正予算の承認について 平成28年度事業計画・予算の承認について 特定個人情報等の取扱規定について 資産取得資金の変更について
平成28年1月22日	第7回評議員会	平成27年補正予算の承認について 平成28年度事業計画・予算の承認について 資産取得資金の変更について 理事候補の選任について

(2) 監査

平成27年4月3日 平成26年度決算監査

2 各事業報告

(1) 放牧預託事業

平成27年度の放牧延べ頭数は、当初計画387,390頭に対して実績は371,370頭と16,020頭減少した。この内訳は、乳用牛が12,485頭、肉用牛が3,685頭の減であった。

これは、乳用牛については計画より預託希望が大幅に減少した事によるもので、また、肉用牛については冬期舎飼の頭数制限をかけた事による減少である。これに伴い、預託料収入は当初予算226,133千円に対して216,880千円となり、9,253千円の減額となった。

平成26年度対比をすると下表のとおりで、預託収入は前年対比100.2%と昨年度並みであった。

牧場名	畜種	預託延頭数(頭)		預託料収入(千円)		前年対比(%)
		平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	
鳥取	乳用牛	147,679	148,639	88,813	90,670	102.1
	肉用牛	60,120	65,685	27,717	30,412	109.7
大山	乳用牛	165,878	157,046	100,009	95,798	95.8
	肉用牛	60,120	65,685	27,717	30,412	109.7
合計	乳用牛	313,557	305,685	188,822	186,468	98.8
	肉用牛	60,120	65,685	27,717	30,412	109.7
総計		373,677	371,370	216,539	216,880	100.2

(2)人工授精・移植・採卵事業

平成27年度事業計画は人工授精3,558千円、受精卵移植4,095千円、採卵事業8,400千円の収入を予定していた。人工授精については、ほぼ計画とおりの収入となった。受精卵移植では実施頭数が計画より減少したものの、受精卵販売が新たに加わったため増額となった。採卵事業においても希望者が増え増額となった。よって、全体の手数料収入は当初計画より2,306千円の増額となった。

受精卵販売については、畜産試験場の繁殖和牛の飼養管理業務を受託している中で、25頭の牛から採卵を行い県下の畜産農家に受精卵販売を開始したことにより、今年度は165卵を販売し、2,673千円の収入を得ることができた。

受胎状況については、ii)表のとおりであるが、人工授精・受精卵移植ともに受胎率が向上した。

i)収入状況

区 分	事業名						収入合計 (千円)
	人工授精事業		受精卵移植事業		採卵事業		
	頭数 (頭)	収入 (千円)	頭数 (頭)	収入 (千円)	頭数 (頭)	収入 (千円)	
平成26年度	1,563	3,290	249	4,261	189	8,620	16,171
平成27年度	1,482	3,446	240	2,592	212	9,648	18,359
			受精卵 計	2,673 5,265			
前年対比 (%)	94.8	104.7	96.4	123.6	112.2	111.9	113.5

ii)受胎状況

区 分	人工授精		受精卵移植	
	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度
実施延頭数(頭)	1,563	1,482	580	520
受胎頭数 (頭)	709	879	246	240
受胎率(%)	45.4	59.3	42.4	46.2

(3) 牧草管理事業

平成27年度の牧草収穫は、鳥取放牧場において、兵円牧野での採草を中止したことにより牧草収穫面積が減少し、牧草収穫量は昨年に比べて89.0%と落ち込んだ。しかし、平均収穫量は昨年に比べ30%増収することが出来た。これは肥培管理の改善による効果であると考えられる。

大山放牧場においては、例年牧草収穫量が少ないことから、採草面積を20ha増やし、肥培管理の徹底を図ったことにより、全体の収穫量は増えたが、平均収穫量の向上には繋がらなかった。

全体では、草地の肥培管理の充実を行った結果、採草面積は昨年とほぼ同じであったが、1ヘクタール当りの平均収量は10.4tと、昨年対比109.5%の増加を示している。

i) 牧草生産状況

区 分		鳥 取	湖山畑	大 山	計
採 草 積 面	平成26年度	56.5ha	26.0ha	68.1ha	150.6ha
	平成27年度	38.4ha	26.0ha	88.5ha	152.9ha
	前年度対比	68.0%	100.0%	130.0%	101.5%
牧 草 収 穫 量	平成26年度	480.0t	543.0t	414.0t	1,437.0t
	平成27年度	426.5t	638.0t	530.8t	1,595.3t
	前年度対比	88.9%	117.5%	128.2%	111.0%
平 均 収 量	平成26年度	8.5t/ha	20.9t/ha	6.1t/ha	9.5t/ha
	平成27年度	11.1t/ha	24.5t/ha	6.0t/ha	10.4t/ha
	前年度対比	130.6%	117.2%	98.4%	109.5%

ii) 自給率

区 分	牧草購入量	牧草収穫量	自給率
平成26年度	1,779.5t	1,437.0t	44.7%
平成27年度	1,001.0t	1,595.3t	61.4%
前年対比	56.3%	111.0%	

iii) 草地更新

区 分	鳥 取	大 山	合 計
全 面 更 新	3.3ha	13.0ha	16.3ha
簡 易 更 新	10.9ha	0ha	10.9ha
合 計	14.2ha	13.0ha	27.2ha

(4) その他収入状況

i) 平成27年4月1日より、大山乳業から職員7名の転籍を受入れ、その支援として新たに16,000千円を受取民間助成金として受入れた。

ii) 湖山池周辺農地の草地管理費10,714千円を雑収入として受入れた。

iii) 受託料収入33,241千円は、県土整備事務所から湖山池浚渫残土再利用造成委託料として約20,000千円。県畜産試験場から和牛繁殖管理委託料として約4,800千円。鳥取県から放牧場内施設修繕委託料として約8,000千円を受入れたものである。これらはすべて、業務委託契約に基づき作業を行っている。

(5) 支出状況

- i) 給料手当について、大山乳業から職員7名の転籍を受入れたため、前年度より約32,000千円増額となった。
- ii) 飼料費について、自給飼料収穫量が昨年より11.1%増えたため、飼料の購入量が減り、前年度より約3,600千円減額となった。
- iii) 修繕費について、県の委託事業により大規模な施設修繕を行ったため、前年度より増額となった。
- iv) 支払負担金について、平成27年3月31日まで大山乳業から出向職員を受入れており、その人件費の2分の1を支払負担金として年間25,000千円を支払っていたが、4月以降はその負担がなくなったため減額となった。
- v) 医薬材料費について、4年前からピロプラズマ病対策を行ってきた効果が表れ、ピロプラズマ病に起因する疾病が減少し、治療薬等の購入金額の減少を見たが、受精卵関係の頭数が多く、その関係医薬材料の購入金額が多くなり、昨年同様の支出額となった。

(6) ふれあい牧場等の整備

- i) 大山放牧場のふれあい施設「大山まきば」は大山乳業農業協同組合に管理委託し営業している。今年度は平成27年3月21日から平成27年12月7日まで246日の営業で約304千人の来場者を得、畜産への理解醸成が高まった。
- ii) 鳥取放牧場の「ふれあい草地」については、地域の幼稚園児・小学校児童・老人介護施設の方々が定期的に来場されており、牧場への理解醸成に繋がって来ている。

3 業務内容の見直し、改善事項

ジェイカムアグリ(株)より化成肥料200tを無償で供給してもらい、採草地の肥培管理を徹底させたことにより、自給飼料生産量の向上が図られ、購入飼料費の削減に繋がった。飼料自給率は前年度45%に対し今年度は61%であった。

事業報告に係る附属明細書

記載事項なし